

農作物の生育概況等について

1 気象経過

5月の平均気温はやや高く推移したものの、中旬以降は日照時間がやや少なくなった。5月25～26日には、最上地域および庄内地域の一部で雹害が発生した。6月の気温はやや高く経過し、梅雨入りは平年より7日遅い6月19日となった。また6月14日（最上、置賜地域）、15日（最上地域）、22日（村山地域）に雹害が発生した。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 6月30日現在の生育は、草丈が平年より長く、茎数はやや多く、葉数、葉色は、並となっている。

(2) 大 豆

- ・ 概ね順調な生育となっており、現在は3～4葉期となっている。中耕・培土作業が行われている。

(3) 果 樹

- ・ さくらんぼ主産地における「佐藤錦」（雨よけ栽培）の収穫盛期は、前年より5日程度、平年より2～3日程度早い6月19日～24日頃となり、さくらんぼの収穫は、ほぼ終了している。
- ・ 品質は、糖度が高く、食味良好であったが、6月上旬～中旬の高温の影響により、着色の遅れと果肉の軟化がみられた。

(4) 野 菜

- ・ ハウスメロンは、現在収穫終期に入っており、品質は良好に経過している。
- ・ 露地メロンは、着果良好で、果実肥大は順調であり、収穫は平年並の7月中旬頃から本格化する見込みである。
- ・ 露地すいかは、交配盛期が平年並の6月1日頃から6月20日頃となった。着果は順調で、収穫は平年並の7月中旬頃から本格化する見込みである。
- ・ きゅうり露地栽培の収穫は、平年並の6月22日頃から、トマト夏秋栽培の収穫は、平年並みの6月25日頃から始まっており、品質は良好となっている。

(5) 花 き

- ・ ばらやトルコぎきょうが出荷されており、品質は良好である。
- ・ りんどう、きく類の生育は順調である。

3 農作業安全、新型コロナウイルス感染症対策

〈農作業安全〉農作業事故防止のための基本的な対策を再度確認し、徹底する。

〈感染症対策〉体調チェックや3密（密閉、密集、密接）防止など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。

4 当面の主な技術対策

〈水 稲〉食味重視の追肥、斑点米カメムシ類の防除対策（草刈り等）

〈果 樹〉各樹種の凍霜害程度に合わせた着果管理、りんご黒星病等の防除の徹底

〈野 菜〉通風換気などの高温対策の徹底、排水対策の徹底、各種病害虫の適期防除

〈花 き〉露地花きの排水対策、施設花きの各品目特性に応じた温度管理の徹底